



小 建 監第49号  
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 殿  
(宇都宮国道事務所長)

小山市長 大久保 寿夫



中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について (回答)

平成19年4月2日付け国道企第114号において、標題の件について別紙  
のとおり回答いたします。

## 【小山市 意見】

### 道路特定財源「中期計画」

#### 今後の道路政策や道路の整備・管理について

#### ・重点化を進める上で特に優先度の高い政策

##### 【意見】

- ・合併をするにも、隣接市町間道路の整備が前提。合併促進、隣接市町間道路促進事業の創設を希望します。
- ・市民との協働による地区まちづくりを推進する中で、地域住民からは、狭隘な生活道路の拡幅や生活幹線道路等の整備などの要望が極めて強く、市としても生活に密着したインフラ整備が重要。
- ・小山市のように、高速道路ICから離れている地域にあっては、地域活性化の観点からもICへのアクセス道路の整備・強化が重要。
- ・コスト削減などの効率化を図ることを前提として、未整備都市計画道路等の整備優先度の高い道路の建設。
- ・小山市では、高齢者をはじめとする交通弱者の移動手段の確保や市民の利便性確保のため、市コミュニティバスの運行を平成14年2月から運行し、現段階で8路線をバス5台で運行しています。今後、市内全域へのバス交通整備を進め、計画では、12路線を8台で運行することとしています。

市のコミュニティバスは、低床バスではないため、高齢者には乗降時に大変な苦勞をかけており、是非とも低床バスにしてほしいとの声が非常に多い状況です。今後、ますます高齢化が進む中、安全・安心のまちづくりや豊かな生活環境の整備等多角的な視点で道路政策への期待が高まっており、さらに、コミュニティバス路線の維持をしていくと共に、市民生活と密着した存在のコミュニティバスの低床化の促進に関する国の施策が重要。

- ・基幹的な鉄道駅周辺において、渋滞緩和や歩行者優先のまちづくり、中心市街地の活性化のための、駅前広場や連絡自由通路等の整備。

#### ・効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

##### 【意見】

- ・事業の開始前や途中段階で必要性をチェックするなど事業ごとの評価を徹底する。
- ・道路の建設や管理にかかるコストをもっと減らす努力をする（工法の工夫や新技術の活用など）
- ・事業の実施にあたって、早い段階から市民の考えや意見が十分に反映されるような取組みを積極的に行う。
- ・沿道の住民やNPO（特定非営利活動法人）などが道路の管理にもっと参画できる取組みを行う。

・その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関すること

【意見】

- ・道路の利用者や沿道の人々のマナーの向上及び道路管理の充実（日常的な維持修繕（清掃・舗装修繕）など）について、マナーの徹底が必要。

国道50号など小山市街におけるゴミ等の排除が不十分なため、小山市のイメージを損ねている。

道路管理を市が行えるよう制度の改正を希望します。